

Ⅱ.くらしと産業に関する交流会、情勢収集活動

1. 施設・工場視察、業際間交流会

当センターでは「企業と国民・消費者が相互に理解を深めるために、生産者は消費者の立場を、消費者は生産の原点を正しくとらえることが肝要である」との考えから、標記「視察、交流会」を実施してきた。これまで多数の方々にご参加頂き、好評のうち回を重ねてきた。

今後の視点としては、端的に言えば日本人は日本を観尽くし知り尽くすことである。つまり、日本人はわが国産業（農業・水産業・工業・地域産業・伝統産業等）の特性や四季に恵まれた観光資源そして伝統文化について必ずしも掌握しきれていない向きもあり、日本の国土に愛と確信、誇りを持ちたいからである。

また、政府観光局が来日観光客の数値目標を1000万人とし、旅行社などが努力を重ねても若者など多くの日本人は国内よりも外国旅行に出かけている現状を省みることもなるといえる。

以上の点も加味し2013年度も継続する。2～3回実施したい。

○第59回

日 程 2013年7月3日（水）

視察箇所 日立アプライアンス株式会社 多賀事業所
家電およびオール電化製品の生産工場

（茨城県日立市東多賀町一丁目1番1号）

○第60回

視察箇所 首都圏 ホンダ ロボット開発

実施時期

2. 地域社会の活性化、振興に関する協力

東北大震災から2年を経過した。被災地の復興は徐々に進みつつあるが、なおその爪痕は残っている。避難民は約31万人、その内原発事故関係者は約16万人といわれている。(2013年1月末現在)

ガレキ処理、住宅建設などについては人材不足が深刻となっている。
当センターとしては被災地の復興を祈念して東北電力、東北物産協会と提携して次のとおり物産展を企画する。

日 程	2013年5月22日(水) 17:00～19:00
会 場	KKR HOTEL TOKYO 10F
展示即売品	東北被災地3県(岩手、宮城、福島)の物産